

Rapport

2024
Number

124

多摩大学 | 広 報 誌 |

Vol.124 Contents

2023 年度 第 2 回 SRC	02
第 12 回「実学の帝塚山大学」実践学生発表祭 本学より 2 チームが参加	03
経営情報学部生が都立羽村高等学校の「総合的な探究の時間」最終発表会で講評	03
第 15 回多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭	04-05
〈経営情報学部〉	
彩藤ひろみゼミ メタバース石垣島で学習型観光を開発	06
令和 5 年度八王子学生 CM コンテスト審査員賞を受賞	06
多摩市立聖ヶ丘小学校 2 年生 大学の仕事を体験	06
寺島実郎監修リレー講座 現代世界解析講座 XVII 2024 年度春学期	07
広報誌「Rapport」「多摩大ジャーナル」WEB 化のお知らせ	07
[Topics]	
〈経営情報学部〉野坂美穂ゼミ 令和 5 年度タマリズムコンテスト特別賞受賞	08
京王観光株式会社と多摩大学の「観光に関する発表会 2023」を開催	08

2023年度第2回SRC (Student Research Conference)

2024年1月26日、「2023年度第2回SRC (Student Research Conference)」が開催されました。SRCは経営情報学部の学生がホームゼミにおける研究成果を発表する場で、年2回(夏・冬)行っています。

発表と質疑応答を含め10分(Short)、15分(Long)の持ち時間が与えられ、今回は6教室において卒業研究も含め80件を超える発表がありました。研究のテーマや関心は多岐にわたり、教員や参加学生からは様々な質問や意見、アドバイスがあり有意義な場となりました。

〈出原至道ゼミ〉「卓球のフォーム分析経過報告」「VRプラネタリウムの制作に向けて」「UnityでOpenCvを使ってobjectを動かしてみる」「FaceTrackingとLive2Dを統合したアプリケーション開発」他 〈梅澤佳子ゼミ〉「世代間交流八王子駅前サロンプロジェクト2023」「日銀の金融緩和政策に対する一考察—生活者の視点に立って」他 〈加藤みずきゼミ〉「来年の研究計画—顔文字の取捨選択における心理—」「スポーツ観戦と地域に関する研究」「パッケージデザインの色が購買意欲に及ぼす影響」「割引商品に対する衝動性と性格の関係性の研究」他 〈木村太一ゼミ〉「なぜ企業は連単分離が進まないのか」「短期間で行われるのれん償却から考える 会計基準統一の問題点」 〈久保田貴文ゼミ〉「ビッグデータを活用した労働市場動向の分析と雇用予測モデルの開発」「コロナ時代の娯楽施設利用トレンドとIT化の影響」「高齢者の交通事故における死亡事故のリスク要因について」「就職活動で成功した多摩大生の行動と心理に関する研究」他 〈小林昭菜ゼミ〉「エリザベス女王の一生～誕生から即位、死後まで～」 「現代中国の社会現象」 〈齋藤S.裕美ゼミ〉「多摩大学生のAEDに対する意識調査」「大学生はLINE上でのコミュニケーションをどう捉えているか」「キャッシュレス決済の利用に対するリスク意識調査」「動画配信サブスクリプションサービスの普及と著作権に関する意識調査」他 〈彩藤ひろみゼミ〉「石垣島アスレチック」「石垣島『ゴミマスター』」「ハロウィンプロジェクトを振り返って」「アニメ・ゲームのアイテムを立体化し、その構造を理解する」 〈菅沼隆ゼミ〉「内的状態の違いが脳波に及ぼす影響を検証」 〈杉田文章ゼミ〉「IRで考える観光産業」「みんなが通いやすい・通いたいと思う学校を作るにはどうすればいいのか」 〈高橋恭寛ゼミ〉「タテ社会の人間関係」「日本人の集団への考え方」「【学問のすすめ】から学ぶ文明的進歩と新時代に必要な思想について」他 〈中庭光彦ゼミ〉「地域に寄与する『道の駅』の姿とは」「南三陸町の現状と課題」「歴史まちづくりの条件とその活用方法」「地方の雇用と拠点による街の活性化」他 〈良峯徳和ゼミ〉「ゲーム初心者と熟練者の違いを事象関連電位(ERP)で検証する」他

○発表の一覧は右記URLおよびQRコードから閲覧することができます。

URL : <https://src.tama.ac.jp/>



第12回「実学の帝塚山大学」実践学生発表祭 本学より2チームが参加

2024年3月1日、帝塚山大学東生駒キャンパス（奈良県奈良市、学長：奥村 由美子氏）にて、「第12回『実学の帝塚山大学』実践学生発表祭～アクティブ・ラーニングの実践事例～」が開催されました。多摩大学と帝塚山大学は「学术交流に関する包括協定」を締結しており、その一環として毎年実施されている本発表祭に、本学からはインターゼミ（社会工学研究会）「アジアダイナミズム班」（学生2名、大学院生2名）と「新西 誠人ホームゼミ」（学生2名）が参加しました。本学の他には大阪電気通信大学が参加し、3大学による多種多様な教育研究分野の発表が行われました。

アジアダイナミズム班は「モンゴル帝国の衰退から見る宗教と統治～ロシアと中国の視点から～」、新西誠人ホームゼミは「画像生成系AIの現状と展望」をテーマに、ゼミで1年間積み上げた研究成果を報告しました。各チームの発表の最後には、学生たちから次々と質問の手が挙がり、活発な質疑応答が展開されました。

帝塚山大学は昨年12月16日に本学で開催した「多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭」にも参加しており、研究発表を行っています。多摩大学と帝塚山大学は、このような研究発表を軸に学生と指導教員が毎年交流を深め、互いに切磋琢磨する貴重な機会となっています。



会場の様子



アジアダイナミズム班による発表2



新西誠人ゼミによる発表



水盛准教授による講評

経営情報学部生が都立羽村高等学校の「総合的な探究の時間」最終発表会で講評

2024年2月14日、多摩大学と教育交流協定を締結する東京都立羽村高等学校（東京都羽村市、校長：神谷 画歩氏）（以下「羽村高校」）にて探究学習「総合的な探究の時間」の発表会が行われ、羽村市役所のご担当、経済産業省 関東経済産業局のご担当、経営情報学部 長島剛教授と学生7名が参加し、講評を行いました。

羽村高校の2学年（7クラス）を対象にした探究学習は、「羽村市の強みを活かした社会課題の解決」をテーマに授業が行われ、本学の学生7名が2024年2月までに6回の授業に参加、高校生に対して「地域経済分析システム RESAS」を活用した調査方法、学習への協力・助言を行ってきました。

各クラスの代表班による最終発表では、若者をまちに呼び込む、イベントでまちを盛り上げる、多国籍の人たちと一緒に暮らす等、各班の興味や関心に基づいたテーマに沿ってプレゼンテーションが行われ、高校生は、羽村市の社会課題に関する現状の把握や改善点を見出すなど多くの学びを得ました。

講評では、各クラスの担当学生から「探究学習の授業で得た知識や経験を活かして色々なことにチャレンジしてください」「授業へ向けたエネルギーを今後は自身の目標や成果に向けて効果的に使ってください」等のアドバイスを送りました。



第 15 回多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭

多摩大学では開学以来、大学内での机上の学修にとどまらず、学生が地域をはじめとする学外のフィールドに出て自らの手と足を動かして活動し、行政・企業・NPO・地域団体・地域住民などさまざまな関係主体と連携しながら、課題の発見と解決を目指すゼミ活動を行ってきました。アクティブ・ラーニング（AL）とは一般的に「学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法」と定義されています。開学以来実践してきた AL をさらに活性化すべく、「アクティブ・ラーニングセンター（ALC）」では、AL の研究・開発とプログラムの推進、FD（ファカルティ・ディベロップメント：教員の教育力の開発）、図書・IT・学修サービス、教学マネジメントの推進を行っています。

今年度においても多種多様なプロジェクト・研究などのアクティブ・ラーニングプログラムを展開してきました。その活動の成果を共有する機会として、2023 年 12 月 16 日に『第 15 回多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭』を開催しました。001 教室と 101 教室を会場に午前と午後の 2 部制、持ち時間は質疑応答も含め 1 チーム 20 分、高大接続の取り組みとして多摩大学目黒中学校・高等学校、多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校による成果発表、招待発表として帝塚山大学（奈良県奈良市）、東京経済大学（東京都国分寺市）にもご参加いただき、22 チームが熱意のこもった発表を行いました。



【URL】 <https://www.tama.ac.jp/al2023/index.html>

タイトル	発表者	
学生による高齢者の健康長寿を支える実践活動 (大学コンソーシアム八王子令和 5 年度「学生企画事業補助金」対象事業)	経営情報学部 梅澤佳子ゼミ	
ASPA (Asian Science Park Association) インターン研修期	経営情報学部 趙佑鎮ゼミ	
多摩大学アジアダイナミズム研修・済州平和フォーラム・済州漢拏大学交流	経営情報学部 趙佑鎮ゼミ	
小田急沿線を巻き込んだ産学連携	経営情報学部 長島剛ゼミ	
日本と中国の若者向け IP 戦略分析	経営情報学部 水盛涼一ゼミ	
日本のディズニーと中国の迪士尼の相似と相違にみる営業戦略	経営情報学部 水盛涼一ゼミ	
平和へ向けて ーいま私たちがすべきことはー	グローバルスタディーズ学部 桐谷多恵子ゼミ	
日本人の間食実態調査	グローバルスタディーズ学部 渡邊泰典ゼミ	
モンゴル帝国の衰退から見る宗教と統治 ーロシアと中国の視点からー	インターゼミ (アジアダイナミズム班)	
「広島観光」の可能性 ー原爆・戦争・平和を学ぶ旅をどう組み立てるのか	インターゼミ (サービス・エンターテインメント班)	
多摩地域の水害の特徴と求められる情報発信 ー多摩大学の防災拠点化に向けた提案ー	インターゼミ (多摩学班)	
生成 AI によって社会は変わるのか? ~文章生成 AI による実践~	インターゼミ (DX 班)	
済州島	多摩大学附属聖ヶ丘高校	
聖っ子プロジェクト	多摩大学附属聖ヶ丘高校	
済州島の学び舞台	多摩大学目黒高校 アジアダイナミズム SG	
おもちゃのレンタルサービス Toy Magic	多摩大学目黒高校 起業体験 SG	
デリシャス・フード・ラブキッチン	多摩大学目黒高校 投資戦略 SG チーム A	
壱田永年たため法	多摩大学目黒高校 投資戦略 SG チーム B	
ロボットカープログラミング	多摩大学目黒高校 プログラミング SG	
招待発表	東経大・小木ゼミによる企業とのコラボ活動 ~国分寺物語、TFT、こんな商品あったらいいな PJ、知財活用スケジュール アワード 2023 ~	東京経済大学 小木ゼミ
	大学男子ラグビー選手に対する栄養サポート	帝塚山大学 現代生活学部食物栄養学科 スポーツ栄養サポートチーム
	「奈良学」の実践	帝塚山大学 文学部日本文化学科 民俗学ゼミ



経営情報学部 梅澤佳子ゼミ



経営情報学部 趙佑鎮ゼミ



経営情報学部 趙佑鎮ゼミ



経営情報学部 長島剛ゼミ



経営情報学部 水盛涼一ゼミ



経営情報学部 水盛涼一ゼミ



グローバルスタディーズ学部 桐谷多恵子ゼミ



グローバルスタディーズ学部 渡邊泰典ゼミ



インターゼミ(アジアダイナミズム班)



インターゼミ(サービス・エンターテインメント班)



インターゼミ(多学学班)



インターゼミ(DX班)



帝塚山大学 現代生活学部食物栄養学科スポーツ栄養サポートチーム



帝塚山大学 文学部日本文化学科 民俗学ゼミ



会場の様子

彩藤ひろみゼミ メタバース石垣島で学習型観光を開発

多摩大学経営情報学部 彩藤ゼミは、特定非営利活動法人うみもりそらの受託を受けメタバース石垣島を活用したファミリー向けの新しい学習型観光の開発に携わっています。「令和5年度沖縄県観光コンテンツ開発支援事業」として採択された同法人の事業は、バーチャルリアリティ（VR）技術を利用したメタバース空間とリアル空間を結びつけることで、観光しながら学習が可能な空間を提供することで石垣島の魅力を高め、持続的な観光振興を目指すものです。

彩藤ゼミではVRを研究テーマとしており、石垣島の観光資源である自然・文化をより深く学ぶための学習要素を組み入れた観光体験が行える石垣島観光の疑似体験空間（メタバース）を構築しています。2023年9月と2024年1月には、彩藤ゼミの学生4名が石垣島において、建造物、鍾乳洞、マングローブ、シーサーなどの特徴的な構造物や自然環境などの現地調査や竹富島の住宅や植生の調査を行い、様々な空間情報を得ました。学生たちは現地でしか得られない体験や気づきから、よりリアルな3D表現を可能にするための制作目標を設定しています。

今後同コンテンツは、NPO法人うみもりそらでのワークショップやCluster社提供の公開メタバース空間で体験することが可能です。



バーチャル石垣島



石垣島での現地調査



令和5年度八王子学生CMコンテスト審査員賞を受賞

2024年2月4日、「令和5年度八王子学生CMコンテスト上映会・表彰式」（主催：大学コンソーシアム八王子）が八王子市学園都市センターにて開催され、経営情報学部 経営情報学科 大林愛礼さん（2年生・樋笠堯士ゼミ）が審査員賞を受賞しました。

同コンテストは、大学・大学院・短大・高専の学生を対象に学生ならではの視点で八王子市の魅力を30秒の動画CMにした作品を募集するものです。今年度の作品テーマは「八王子で暮らす」、住む・生活するだけでなく、学ぶ、遊ぶといった人生の重要な観点を意識した40作品が展覧されました。大林さんは「八王子列伝 -冒険者の記憶-」のタイトルで、RPG調の作品として八王子市の魅力を短時間で構成しました。

特別審査員から大林さんの作品に対し、「本物のCMのようなクオリティの高い画面構成で、かつ、親しみやすさがあり、大変良かったです」と講評がありました。

同コンテストに参加した学生がCM制作活動を通して、八王子の魅力を発見、地域に愛着を持つきっかけづくりになることが期待されます。



作品はこちらから



多摩市立聖ヶ丘小学校2年生 大学の仕事を体験

2024年1月22日、多摩市立聖ヶ丘小学校2年生7名が「生活科」の学習の一環で多摩キャンパスへ来校、図書館にて大学で働く人（教職員）へのインタビューと出原研究室の仕事体験をしました。

同校では低学年の生活科において、児童が主体的に探究課題を設定し、様々な活動に取り組み、学びながら持続可能な開発のための教育を推進しています。2年生では「とび出せ！町のたんけんたい」（身の回りの地域に興味をもつ）というテーマに沿って授業を行っています。経営情報学部 出原至道教授と産官学民連携センター事務課 矢内直美職員へのインタビューでは、「仕事をしているときの気持ち」や「仕事で心がけていることはありますか」などの質問がありました。小学生は事前にインタビューにおける質問を用意しており、大人からの回答を事前に用意した質問用紙に一斉懸命書きこんでいました。

最後に出原研究室のVR機材の備品整理など研究に携わる仕事を体験し、帰り際には「多摩大学で働きたい」「もっと大学探検したい」との感想がありました。大学の教育や研究等が地域社会において必要で、そして、本学が地域貢献できるよう日々の活動を伝える機会となり、子どもたちが将来の目標や進むべき道が見つかったとき、大学で学ぶことが選択肢の1つになることを期待します。



「新しい世界秩序と日本の針路を探る」

世界をより深く広く理解する努力が、いかに生きるべきかに気付く基盤であり、直面する課題の解決力を高める鍵である。

多摩大学のリレー講座も 17 年目を迎え、地域住民約 300 名、学生約 200 名が受講し、延べ参加者 24 万人超の参加者を得ています。

【会場】多摩キャンパス 001 教室 【時間】14:50～16:10 (受付開始 14:00) 【受講料】一般 13,000 円 (全 12 回分)

【特別割引受講料 11,000 円】*多摩大学後援会会員、多摩市および稲城市の在住・在勤者、他大学学生、多摩大学卒業生・大学院修了生

【ライブビューイング受講料】6,000 円 (湘南キャンパス)

【インターネットオンデマンド(録画)受講料】〈講義資料ネット配信形式〉10,000 円

【主催】多摩大学 【後援】多摩市、多摩信用金庫 【監修】寺島実郎 (多摩大学学長) 【HP】<https://www.tama.ac.jp/relay/>



	開講日	講師 (敬称略)	肩書・役職等	テーマ
1	4月18日(木)	寺島実郎	多摩大学学長 (一財)日本総合研究所会長	「21世紀の世界システムへの考察」
2	4月25日(木)	藤原 帰一	順天堂大学国際教養学研究所 特任教授	「グローバルサウスの視点 — 非西欧世界から見た国際政治」
3	5月9日(木)	前嶋 和弘	上智大学総合グローバル学部 教授 アメリカ学会会長	「アメリカ大統領選挙の行方と世界、そして日本」
4	5月16日(木)	酒井 啓子	千葉大学国際高等研究基幹 特任教授	「ガザを巡る情勢を理解する：歴史と国際政治から」
5	5月23日(木)	米山 伸郎	日販グローバル株式会社 代表取締役社長 元三井物産米国ワシントン DC 事務所長	「あえてイスラエルから学ぶ」
6	5月30日(木)	下斗米 伸夫	神奈川大学 特別招聘教授 法政大学名誉教授	「ウクライナ戦争と歴史の教訓」
7	6月6日(木)	寺島実郎	多摩大学学長 (一財)日本総合研究所会長	「生命史・人類史の視界から考える現代」
8	6月13日(木)	今村 康子	多摩大学グローバルスタディーズ学部 准教授 株式会社 ANA 総合研究所客員研究員	「エアラインの安全の追求とホスピタリティの交錯」
9	6月20日(木)	西村 訓弘	三重大学大学院地域イノベーション学研究所 教授	「地方からの新たな息吹『地域イノベーション』と その意義」
10	6月27日(木)	真壁 昭夫	多摩大学 特別招聘教授	「世界経済の行方と金融市場動向」
11	7月4日(木)	新西 誠人	多摩大学経営情報学部 専任講師	「デザイン思考と経営情報」
12	7月11日(木)	寺島実郎	多摩大学学長 (一財)日本総合研究所会長	「2024年の意味」

【お問い合わせ】多摩大学寺島実郎監修リレー講座事務局 TEL: 042-337-7300/FAX: 042-337-7103 Mail: relay@gr.tama.ac.jp

広報誌「Rapport」「多摩大ジャーナル」WEB化のお知らせ

これまで保証人の皆さまへご送付しておりました広報誌「Rapport」「多摩大ジャーナル」につきまして、2024年6月発行の第125号より紙面による発送はとりやめ、本学ウェブサイトに掲載することとさせていただきます。

ご理解のほど何卒よろしくお願いいたします。

○大学案内・広報誌 <https://www.tama.ac.jp/guide/publicity.html>



ウェブサイトへの掲載は、後援会メールマガジンでお知らせいたしますので、メールアドレスへのご登録をよろしくお願いいたします。

○メールマガジンの登録はこちらから

経営情報学部 後援会

https://www.tama.ac.jp/student/smis/smis-kouenkai/mail_magazine.html



グローバルスタディーズ学部 後援会

https://www.tama.ac.jp/student/sgs/sgs-kouenkai/mail_magazine.html



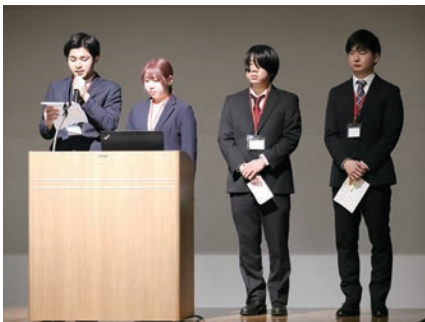
なおウェブサイトでは、これまでのバックナンバーも閲覧いただけます。

〈経営情報学部〉野坂美穂ゼミ 令和5年度タマリズムコンテスト特別賞受賞

2023年12月15日、多摩市・稲城市・八王子市・日野市・町田市・京王観光株式会社・多摩大学総合研究所連携事業のタマリズムコンテストドラフト会議（最終審査会）が東京たま未来メッセ（場所：東京都八王子市）にて開催され、経営情報学部 野坂美穂ゼミのタマベリングチーム「町田四季彩の杜～竹灯籠物語～」に「特別賞」が授与されました。特別賞は、企業・自治体等が次年度以降事業化に向けて協業を希望するチームへ投票を行う“交渉権シート”の投票数が多かったチームに贈られる賞です。

野坂ゼミは「経営学」と「地域活動」をテーマに活動しており、学生が放置竹林問題に取り組む町田市の課題に着目し、町田薬師池公園 四季彩ぶんか祭でのイベントを企画提案しました。約4カ月の準備期間を経て迎えた四季彩ぶんか祭では竹灯籠ワークショップを実施し、1回あたり約2時間かけて、一般参加者の方々とともに放置竹林を活用したオリジナル竹灯籠を作り上げました。また夜のライトアップでは、コツコツと作りためてきた竹灯籠を展示しました。

なお、タマリズムプロジェクトは、本学経営情報学部長島剛ゼミ（ながしまぜみ）が企画・運営に携っており、5市（多摩市、稲城市、八王子市、日野市、町田市）、京王観光株式会社の方々と連携、会場を盛り上げました。



京王観光株式会社と多摩大学の「観光に関する発表会 2023」を開催

2024年3月1日、パルテノン多摩にて京王観光株式会社（本社：東京都多摩市）と多摩大学の産学連携事業「観光に関する発表会 2023」を開催しました。

2020年度から始まった同発表会は、今年度で5回目を迎え、ゼミや大学で得た学びを観光に関連づけ、その研究成果を同社と共有することで新たな観光需要を創出することを目的として開催され、京王観光株式会社と経営情報学部 長島剛ゼミ（ながしまぜみ）の学生（9名）が企画・運営を行いました。

本学経営情報学部からは彩藤ひろみゼミ生（4名）、下井直毅ゼミ生（14名）、樋笠堯士ゼミ生（3名）、松本祐一ゼミ生（6名）、各ゼミの教員（5名）が参加しました。学生たちから新たな観光需要を創出するための提案がなされ、企業と連携した体験型ツアーやイベントの開催、歴史的な観光資源の活用、地域間交流の推進、行動経済学を応用した、価値観や感情による観光客の行動促進等、社会課題解決に沿った企画発表をしました。

同社竹内取締役社長をはじめ役員の方々等から「地域創生を促し、地域活性化を図るプランがとても参考になった」、「行動経済学の応用は、観光客の満足度を上げるためのキャッシュレスやインバウンド対応の環境整備の参考になった」、との講評及び感想がありました。



発表の様子



発表の様子



発表の様子



懇談会の様子

彩藤ひろみゼミ	「メタバース石垣島」
下井直毅ゼミ	「VR 農業体験」 ① 確証バイアスの利用可能性 ② 観光業における効果的な心理戦略～行動経済学を利用した観光提案～
樋笠堯士ゼミ	「まちづくり事例研修ツアー」
松本祐一ゼミ	① 奥多摩から考える多摩地域の観光需要創出 ② 聖蹟桜ヶ丘から考える多摩地域の観光需要創出
長島剛ゼミ	「Odakyu Innovation Roots プロジェクト～事務局としての役割～」



集合写真